

カメラ

ま ち の 出 来 事

あ ら か る と

広報たかはし

広報たかはし



友人たちと思い出のひと時

(1月11日 総合文化会館)

「平成21年成人祝賀式」に新成人307人が出席し、大人の自覚と責任を誓いました。式典後には新成人代表13人で行く実行委員会が企画したクイズ大会も行われ、ビンゴゲームで“ふるさと高梁”にちなんだ問題に挑戦しました。

また、久しぶりに会った友人と写真を撮り合うなど、思い出に残るひと時を過ごしていました。

今年20歳を迎える市内住民登録者は435人です。

明るい地域づくりのために

(2月6日 総合文化会館)

市婦人協議会主催の「平成20年度婦人大会」が開かれました。同協議会は昨年5月、市内の婦人会組織を統一して新たに発足。独り暮らし高齢者の訪問や子育て支援などのさまざまな地域活動に取り組んでいます。

大会では、天台宗普光寺(福岡県宮若市)の住職・池田智鏡ちきやうさんの琵琶演奏を交えた講演や中学生の人権作文の発表などがあり、最後に大会宣言を採択しました。



「せーのっ! 1・2・3・・・」

(1月17日 市民体育館)

日ごろの練習成果を競い、相互の交流を深めることを目的に「第21回体力づくりなわとび大会」(高梁ライオンズクラブ主催)が行われました。

個人戦、団体戦があり、長縄跳びで競われた団体戦には、市内の小学校8校15チームが参加して行われ、児童たちが懸命に跳躍。家族らが大きな声援を送りました。

いきいき健幸塾

(1月18日 川上総合学習センター)

健康を目指して体を動かすことで幸せになろうと、「いきいき健幸塾」(川上地域局主催)を開講中。

この催しは、昨年9月に実施した川上地域ヘルシーウォーキングの参加者が対象。この日は「みんなでたまった脂肪を落とそう!」というテーマでマット体操、リズム体操が行われ、参加者は気持ちの良い汗を流しました。最終回の3月14日にはウォーキングが予定されています。





ダンスで元気に、NEWヤトサ披露

(2月8日 文化交流館)

吉備国際大学ストリートダンス部などが中心となり、ダンスイベント「Oz」が開かれました。これは昨年、国土交通省の「地域づくりインターン」事業で備中地域を訪れた早稲田大学生の岩田淳さんが「何か地域の活性化に貢献したい」と企画したものです。

同部のほか高梁高校、県南の大学のダンス部、市内の子どもダンスグループなどのエネルギッシュなダンスで会場は盛り上がりました。また、新しく若者向けにアレンジした松山踊り「NEWヤトサ」が初めて披露されました。

日ごろの成果を披露

(1月27日～2月1日 有漢生涯学習センター)

「うかん文化祭」(同実行員会主催)が行われ、展示の部には陶芸や写真、絵手紙など、公民館講座生や有漢地域の団体・個人の力作約780点が並び、来場者は熱心に作品に見入っていました。

また、最終日の発表の部には市内12団体が出演し、日本舞踊や銭太鼓などを披露。ステージのハーモニカ演奏に合わせて、来場者が懐かしい唱歌などを合唱する場面もあり、会場も一体となって盛り上がりしていました。



楽しみながら情操教育

(2月1日 備中総合センター)

読み聞かせや工作体験、優れた芸術文化に触れることで、子どもたちの豊かな感性を育み情操を養おうと、「親子ふれあい教室」(備中公民館主催)が開催されました。

お話し会では、備中おはなしの会により紙芝居や童謡の読み聞かせが行われ、参加した親子の笑い声が会場に響き渡りました。

引き続き行われた岡山フィルハーモニック管弦楽団によるコンサートでは、親子連れらはバイオリンなどで奏でられるハーモニーにうっとりとして聴き入っていました。

100歳おめでとうございます

1月15日から2月5日の間に100歳(明治42年生まれ)の誕生日を迎えられた皆さんを市職員らが訪問し、記念品や花束を贈って長寿を祝いました。市内で100歳以上の人は2月6日現在で32人(男性6人、女性26人)



川上 美織さん
(川上町高山)



池本 ヒサさん
(備中町平川)



三村 壽さん
(高倉町田井)



渡邊 好さん
(成羽町成羽)



川上 始さん
(川上町上大竹)



伊達 千代さん
(高倉町大瀬八長)